

Many Thanks!
10th Anniversary

なごみ管弦楽団 第10回定期演奏会

2016年11月27日(日)

14:00 開演 (13:30開場)

川崎市男女共同参画センター
すくらむ21ホール

関泰久 あたらしい時代への序曲
(初演)

グリーグ ピアノ協奏曲
(ピアノ独奏 上田聡子)

ブラームス 交響曲第1番

指揮 柳橋 明德

入場無料・全席自由

交通のご案内



後援：
「音楽のまち・かわさき」推進協議会



(東急田園都市線・大井町線 溝の口駅 / JR南武線 武蔵溝ノ口駅 徒歩10分)

なごみ管弦楽団 第10回定期演奏会

ご挨拶

私達なごみ管弦楽団はこの10年、9回の定期演奏会で、創立時目標のベートーヴェン交響曲全9曲と数多の名曲をお届けすることができました。多くはない人数で助け合って練習と運営に努めてきましたが、多くのご支援があって実現できたことであり、団員一同、感謝の念を忘れることはありません。私達のシーズンⅡの始まりにあたって、これまでの全てのつながりに深い感謝を抱きつつ、新たな出会いと経験を求めて前進を続けたいと願っています。

今回は、団員の一人が書き下ろした力強く清新な序曲、昨年の「第九」練習でもお世話になった素敵なピアニストをお迎えしての美しい協奏曲、ベートーヴェンを敬慕し続けた大作曲家が構想から20年余をかけて完成させた交響曲第一番を、心をこめてお届けします。

ピアノ独奏 上田 聡子 Satoko UEDA



桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部演奏学科ピアノ科卒業。同大学声楽部会伴奏研究員修了。米国ヴァージニア州立大学音楽学部、及びアスペン音楽祭の公式伴奏員を務める。蘭国アムステルダム(スヴェーリンク)音楽院をUM資格(国家演奏家資格)を得て卒業。在欧中伊国ジェノバにおけるスクリアビンセミナーにて最優秀に選ばれ、奨学金を授与され、修了演奏会に出演する。帰国後は東京オペラシティでのリサイタルをはじめ、歌曲の伴奏やオーディション、室内楽、オペラや合唱団等のピアニストを務める。小学校等での鑑賞教室や、病院や老人ホームの慰問コンサートなどを行う傍ら後進の指導にもあたる。

作曲 関 泰久 Yasuhisa SEKI



1975年群馬県高崎市生まれ。高校の頃より作曲を始める。代表作は交響曲第1番へ長調「碧き清流」(2002年)、ピアノ三重奏曲口短調「哀歌」(2006年)、管弦楽のためのセレナーデ(2007年)。作曲の発表はウェブサイトにて<http://office-acer.net/> なごみ管弦楽団創設以来トロンボーン奏者を務める。

あたらしい時代への序曲 ～作曲者メッセージ～

当楽団が10回目の演奏会という節目を迎えるにあたり心機一転活動を続けていくこと、それに世界情勢が現在進行形で変わりつつあることも踏まえて、標題を「あたらしい時代」としました。現在の社会情勢が1世紀前と似た方向に向かっていることを憂慮しつつ、そんな中でも音楽だけは希望を捨てたくない、といった想いを感じていただければ幸いです。

指揮 柳橋 明德 Akinori YANAGIBASHI



1971年札幌市生まれ。東洋大学経営学部卒業。週末は音楽家。都立日野高校在学中に学生指揮者として東京都高等学校吹奏楽コンクールにて金賞受賞。2005年富士山河口湖音楽祭「佐渡裕の公開指揮者セミナー」受講生に選出され指導を受ける。なごみ管弦楽団で2006年の創立以来の団員であるとともに指揮者を務める。その他「多摩南吹奏楽団」指揮者(1991～)、「コバケンとその仲間たちオーケストラ」フルート奏者(2007～)、合唱団「オベリンナー・カントライ」メンバー(2010～)として活躍中。

管弦楽 なごみ管弦楽団



「なごやかな雰囲気」を目指し、2006年に結成。活動方針は「名曲をたのしく」演奏すること。合奏初心者やブランクのある人、団を掛け持ちしている人にも、少ない負担で楽しめるオケでありたいと願っている。

年1回の定期演奏会を目標に、隔週日曜日の午前中に活動している。現在、10代から60代までの幅広い年齢層の団員が在籍する。